

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 221-0821
住 所 神奈川県横浜市神奈川区富家町1-1
氏 名 イオンリテール株式会社 代表取締役社長 村井正平 印
(代理人) 南関東カンパニー総務部長 笹川恭広
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	イオンリテール株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市麻生区上麻生 1 - 1 9		
該当する事業 者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	総合小売業、食品・住生活・衣料服飾商品等の販売及びサービスの提供		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		5,103 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	南関東カンパニー 総務部
		所在地	神奈川県横浜市神奈川区富家町1-1
	電話番号		0 4 5 - 4 3 8 - 3 0 0 1
	F A X 番号		0 4 5 - 4 3 8 - 3 3 3 1
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成22年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び3号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び3号の通り
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び3号の通り
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び3号の通り
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しております。 http://www.aeon.info/environment/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,073 t-CO ₂ (調) 4,633	(実) 8,785 t-CO ₂ (調) 7,612	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 7,691 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -73.2 % (調) -64.3	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) -51.6 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位 の 活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出 原単位等の値	0.07481	0.1186			0.1038
削減率		-58.5 %	%	%	-38.8 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	イオン新百合ヶ丘店は、基準年度5,073t-CO ₂ に対し空調による887t-CO ₂ の増加。今年度より「まいばすけっと39店舗」の追加により大幅な増加。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

イオンは、2012年度のCO ₂ 総排出量を、2006年度比で185万t削減する目標を「イオン温暖化防止宣言」として掲げています。2011年度は139万t-CO ₂ を削減した。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	■イオン新百合ヶ丘店における取り組み ○店舗等の空気調和の管理 ○BEMS の導入 ○照明設備の運用管理 ■マイバスケットにおける取り組み ①冷蔵ケース照明11:00~16:00の間OFF ②店舗軒下照明OFFなど
	第 1 年度	■イオン新百合ヶ丘店における取組 ○BEMS を2010年7月に導入。 ○店内温度を推奨温度である冷房28℃、暖房20℃を厳守。 ○不要照明の消灯の実施。 ○調光による減光・消灯を徹底。 ■マイバスケットにおける取組 ①冷蔵ケース照明11:00~16:00の間OFFの実施 ②店舗軒下照明OFFの実施
	第 2 年度	
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

現状、川崎市事業所への風力・太陽光など導入計画は特にございません

[illegible][illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. 廃棄物の減量化、分別の推進を図る。 2. お買物袋ご持参運動の推進を図る。 3. 環境に優しい商品（トップバリュ共環宣言）の積極的販売を行う。 4. 店頭回収活動の実施。「牛乳パック」「食品トレイ」「ペットボトル」「アルミ缶」 5. 照明やＯＡ機器のスイッチオフの推進を図る。 6. 商品物流は地域性を考慮し、グループ各社と共同物流に変え、配送時のＣＯ２削減を図る。 7. クールビズ・ウォームビズの実施。
第1年度	○買い物袋持参運動の推進。 ○クールビズ・ウォームビズの実施。 ○店頭リサイクル活動の実施。 ○照明やＯＡ機器の未使用時のスイッチオフ。 ○廃棄物の分別。
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

8,321	t-CO ₂
7,503	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
イオン新百合丘店	川崎市麻生区1-19	5611	商業施設	5726 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	39

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数
